

HIO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1996. 3 . 99号

蓮如上人と変革

門徒総代会が別院で研修

教区門徒総代会(多田実会長)では、門徒総代が自ら聞法に励み、相互の親睦と宗門・寺門の護持発展に寄与することを目的として一泊研修会を去る二月二十一日から二十二日に

けて神戸別院ホールにて開催し、三十一組から五十八人の総代さんが参加した。今回は「御同朋の社会をめざして―蓮如上人と変革―」をテーマに、大愚師(滋賀教区蒲生上組即往寺)を講師に迎え、基調講義では仏教の歴史と浄土教から蓮如上人の教義と特徴を講演された。

その後の全体会発表では後継住職の問題、若い人の悩みや、日曜学校の指導者が欲しいと要望があったり、お参りを多くするためには



まとめの講義を熱心に聞く総代さん

まとめの講義では、前日の分科会発表をふまえて、丘師より講義があり、質疑応答の時間には様々な質問も出され、閉会式には多田会長から「新しい時代を背負う門信徒の指導をお願いします」と閉会のあいさつがあり二日間の研修を終えた。



最近、学校で「いじめ」を苦にしたと考えられる生徒の自殺事件が続いて発生し、大きな社会問題となり、マスコミにぎわせている。「いじめ」の原因として、(1)、受験競争の過熱化によって、子供の中に序列化と競争が激化している。(2)、子供たちの自然体験や社会体験の不足から人をモノのように扱ったり、人間関係もゲームのように捉え、相手の喜びや悲しみ、苦しみに鈍感になっている。(3)、核家族化や少子化による集団への適応性や社会性育成(協力したり、競争したり、妥協したりするなど付き合ひ方を身につける)の機会が減っていることなどが上げられる。「いじめ」の問題は、長期的な陰湿な人権侵害である◆真宗教団は宗祖の「如来の本願をよりどころとして苦難にあえぐ人々と共に生きる」という同朋精神を引き継いできた。地域・家庭と連携し、僧侶として何をなすべきか、いま信心の「社会性」が問われている。

(禿 智久)

教区だより		3・4月	
15日(金)~16日(土)	別院常例法座 宏林教正師	1時半	27日(水)~29日(金) 第21回少年連盟中央研修会 西大谷・本山
18日(月)	常備会 建設推進常任委員会	10時半 1時半	27日(水)~30日(土) 本派スカウト中央研修 山科別院
19日(火)~21日(木)	別院彼岸会 杉本堅正師	1時半	28日(木) 総代会評議員総会 10時半
24日(日)	仏壮常任委員会 仏壮理事会	10時半 1時半	29日(金) 組長会 10時半
25日(月)	別院責役総代会	2時	4月2日(火)~3日(水) 輪番・所長研修会 本山
26日(火)	門推幹事会 社推協評議員総会	10時半 1時半	3日(水)~6日(土) 教区相談員研修会 習礼教修所
27日(水)	定期教区会	10時半	6日(土) 第一土曜仏教講座 江里康慧師 1時半
			14日(日) 別院永代経開闢法要 1時半
			15日(月)~16日(火) 別院常例法座 辻 季彦師 1時半
			19日(金) 仏婦総連盟総会 本願寺会館
			20日(土)~21日(日) 近畿ブロック青年教化連絡協議会 滋賀

阪神・淡路 義援金

阪神・淡路大震災義援金の教務所へ届けられたもの(2月1日から2月29日まで)を掲載させて頂き紙面をかりて厚く御礼申し上げます。(敬称略・受付順)

尚、2月29日現在総額九億四千二百二十五万二千一百円をお寄せ頂いております。

▽第三回ビハラ活動全国集会参加者一同十六万六千三百二十七円▽阪神南組西光寺九万円▽大阪教区緊急対策本部一百万▽網干組五万二千二百三十円▽大阪教区緊急対策本部五千九百九十八円。

大震災義援金の使途について

全国から九億余円の義援金をお寄せいただいたのですが、その使途については、兵庫県や宗門関係学校・被災寺院内の幼稚園・保育園に七千余万円。被災寺院二百六十八カ所に義援金・見舞金として五億三千万円。犠牲にあわれた寺族・門徒の方々千三百余人に申慰金として七千余万円お届けしております。また、救済復興活動関係費として一千万円使用いたしました。残る二億円余については、

情報センターに登録を

平成七年八月、災害対策現地本部に各復興支援活動者の連絡・調整を計る「復興支援活動者情報センター」が設置されましたが、十分な機能を發揮していません。震災後一年が過ぎ、新たな役割を担う場として機能の充実が急務となりました。

災害対策現地本部では二月十五日付で教区内全寺院及び支援団体に対して、情報センターへの登録を呼びかけております。何卒趣旨をお汲み取り頂き、ご賛同の上ご登録頂きますようお願い申し上げます。

お扱いの申請お早めに

いよいよ今月末日をもって建設会計が閉鎖されます。これによって、永代経扱いの院号は別院で取り扱われなくなりま。

現在ご懇志をご進納いただき、お扱いが保留になっておられるご寺院が、永代経扱い・物品扱いともにお早めに申請いただきますようお願い申し上げます。照会等お問い合わせは別院(担当菅野)まで。

また、寺院懇志につきましても事情ご賢察いただき、各寺院目標額までご協力の程重ねてお願い申し上げます。

敬 弔

三輪 紀師(みわ・おさむ) 赤穂北組教証寺住職(二月十九日、六十七才で往生。葬儀は二月二十二日、教証寺で。「往観院釋紀」昭和四十六年より住職在職二十五年)

曾谷研壽師(そたに・けんじゅ) 揖尾西組専法寺住職(二月二十六日、八十八才で往生。葬儀は二月二十八日、専法寺で。「浄誓院釋研壽」昭和十六年より住職在職五十五年。昭和十年より満州開教教務所、同十三年より長野別院にも勤務。本願寺派布教使)

納骨所小型は受付終了

別院納骨所の小型区画については平成八年二月二十日をもって設置基数の二百十の申込が終わりましたのでお知らせいたします。尚普通区画は三十基、特別区画は七十五基(二月二十九日現在)ありますので有縁の方々にご紹介のほどお願いいたします。

建設懇志進納総額 二十一億二千八万四千六百八十三円(92%)
(96年2月29日現在)

法要準備委員会始動

正副委員長・部会長を選出

昨年十一月の臨時教区会で可決された、本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念法要準備委員会規程に基づき、去る二月十四日、第一回本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念法要準備委員会が別院にて開催され、正副委員長、各部会正副部長が選出された。

当日は九十五人の委員中四十人の出席と三十四人の委任状をもって協議された。まず、会長である土基教務所長から、別院・センターの完成のお礼が述べられ、御同朋総結集大会、運如上人五百回遠忌法要との連動の上での法要であることなどが、経過を含めてあいさつがあった。

この委員会は、別院責役総代・仏婦、教区会より常備会、全組長、基推委代表、各教化団体代表者、学識経験者、建設推進常任委員などで構成されている。

正副委員長については、五人の選考委員が選出され、委員長には田中法範師（教区会議長）、副委員長には近藤吉氏（別院責任役員）が選出された。

また、総務部会は委員長・副委員長、各四部会の部長・副部長で構成すること。委員会委員のなか、組内一人のみの組については組相談員を加えて二人以上とするのが決まり、第一期に本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成落慶法要（仮称）・第二期に兵庫教区運如上人五百回遠忌法要・第二期兵庫教区御同朋総結集大会を開催する予定で今後開催日・規模並びに開催場所等については法要総務部会で検討し、委員会でも協議されることが決まった。

各部会部長◎・副部会長◎は次の通り。

法要参拝部 ◎広岡行信・神戸中・徳照寺 ◎木村久子・神明・普福寺 ◎月崎昭見・加古川・南宗寺 ◎辻岡武子・高砂・教徳寺 ◎出田 求・揖電西・一行寺 ◎中西正一・赤穂北・明尊寺 ◎森田紫雲・朝来・如来寺 法要財務部 ◎光森宣明・北撰・正覚寺 ◎藤田時男・神戸東・専念寺 ◎大岡周賢・神明・金覚寺 ◎軌保孝昌・朝来・極楽寺 法要広報部 ◎杉本頭俊・阪神北・光円寺 ◎近藤龍樹・加古川・普光寺 ◎増井浄見・赤穂北・浄蓮寺 ◎中村信之・神戸西・浄行寺 ◎光森龍樹・神明・安養寺（敬称略） 副部会長は組番号順

こころと体の健康を 若婦人の集いに400人

今年で八回目となる教区仏婦連盟（木村久子委員長）主催の若婦人の集いが、去る二月十七日、神戸別院ホールにて、四百人の若婦人が参加して開催された。

この研修会は仏教婦人としての関法を深め、組・単位仏教婦人会の充実と次代を担う人材の育成を計り、若婦人がみ教えに遇える場とすることを開催趣旨に、テーマを「仏教婦人へ若婦人へへの願い」として例年開催されている。



「娘たちよ」を全員で練習

講師には仏教婦人會総連盟講師である久堀弘義師（神戸湊組行願寺）を迎え「ダーナ手帳に学ぶ」として講演された。また、讃歌指導として釋氏清子さん（阪神西組源光寺）と赤松君香さん（網干組政源寺）が参加された。

点検糾弾会終わる

HO日記誌

◆2月1日青年僧侶の会員交流会が姫路で。ボーリング大会の後、懇親会◆第三回全国組長代表者会議が本山で◆2日第三回ビハラ活動全国集会打合せ会が別院で◆3日第一土曜仏教講座を別院で。講師は吉川孝臣師（津村別院輪番）テーマは「共に生きる」元神戸別院輪番でもあり、ご門徒の方々は懐かしく聴講◆3日～4日第三回ビハラ全国集会が別院で。全国より三百五十三人が参加。



解放同盟兵庫県連の辰己書記長

加。テーマを「阪神・淡路大震災一こころのケアとビハラ活動」として基調講演や分科会・全体会などを通して実践活動の現状や課題を考え合う場となった。閉会式には参加者から集まった十六万円余が阪神・淡路大震災義援金として土基教務所長に伝達◆6日兵庫教区点検糾弾会が別院で。部落解放同盟兵庫県連と岡山県連から二十二人。教区から九十八人の参加。同盟側から提起された四つの課題（①連続差別事件の原因分析②研修状況③封建遺制の教団における問題点④差別法名・過去帳について点検）について回答書を作成して説明。話し合いのなかでの内容は県連側から「回答書が経過報告となり、今後の取り組みが明確化されていない」「僧侶・教団の本質が常に問われている」「このような事件が起るはずはない」「解放同盟と連帯を深めて欲しい」「差別事象が除名ということですり替えられていないか」などたくさん意見・要望が出された。確認された事



兵庫教区救援隊総括のパネルディスカッション

項は①回答書の内容を全寺院まで届くようにする。②差別法名については今後教区において取りくみを進める。③岡山県内寺院（備後教区を含む）での研修は両教区間で実施に向けて検討することなどであった◆7日如月忌が本山で。別院からは仏教婦人會がバス一台で団体参拝◆青年僧侶の役員會を別院で◆7日～8日近畿六教区議長、組長、教務所長會が奈良で◆8日近同推研修會が大津で◆9日完成記念法要準備會が別院で◆14日完成記念法要準備委員會が別院で（二面に別記）◆本願寺神戸別院永代経開關法要◆第三連区教務所長・輪番・主管連区別協議會が本山で◆上原梵事が代理出席◆15日兵庫教区救援隊阪神・淡路大震災総括の集いが別院で。テーマは「震災を振り返って僧侶として何ができたか」コーディネーターとして司會進行を鍋島直樹氏（龍谷大学助教授）パネラーには長岡晃澄氏（本願寺社会部長）本川英曉氏（神戸中組西方寺副住職）

波中央行動が社会文化會館（東京都千代田区）で。政府各省交渉◆20日別院仏婦報恩講。講師は土基輪番◆21日～22日門徒総代会一泊研修會が別院で（二面に別記）◆26日点検糾弾會反省會を別院で◆27日兵庫教区布教団研修會を別院で。講師は基幹運動本部員の杉本昭典師（北撰組光澤寺）テーマは「基幹運動研修會」～札幌別院差別落書き事件について～今回初めて教区内全カ寺に案内し開催された。杉本師は①差別落書きの内容及び経緯②名指しされたA氏心情と実名公表問題③事件の対応と問題点④落書き事件の背景⑤中日日報への「安藤投稿」と「早島投稿」の問題点⑥布教上の心得について講義。昼食をはさんで五班に分かれて分科會。全体會では杉本師と基推委副会長の久堀弘義師を助言者として分科會発表があり、僧侶の間に学びの姿勢がない。差別の問題が自分ごととして捉えられているのか、人ごとになっていないのかといった反省や酒生氏の差別

完成慶讃法要を今秋に

ト食品の普及により食生活が変化し、成人病というところが注目されてきたことや長い間の食生活によってどんな病気になるかわかるとし、バランスのよい食生活として一日に三十品目ではなく一週間に七十品目としましょうと勧めた。

また、ビタミンA・C・E、食物繊維をとり、脂肪や塩分はとりすぎないようにすることが癌予防になり、すべての成人病予防になるとし、胡麻・果物・ブロッコリー・ゴボウ・レンコン・ニンジンなど緑黄色野菜・脂肪は肉より魚から）若ければ若いほどよく、子どもころからの食生活が大切であると結んだ。

久堀師は、宗教に対する日本人の誤解から仏教・真宗とわかりやすく話され、ダーナ（布施）について、手帳の利用について講演され、最後に蓮如上人にふれられ、お聴聞・教えに耳を傾けることが何によりも大切であることと力説された。

また、要さんは楽しんで元気であるという時代に、努力の積み重ねでこころと体の健康が得られると述べ、昭和四十年代にインスタント

発言問題にも言及した◆成徳学園卒業式に土基教務所長が出席◆27日～28日第十回近畿六教区仏婦運動推進懇談會が大津津村別院で◆28日本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念法要準備委員會総務部會が別院で。名称を「本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念慶讃法要」とする。時期についてはご門主様のご都合によるが平成八年十月下旬頃を第一希望として日程の調整をする。三日間四座四千人を基本に検討する。三月十一日にもう一度総務部會を開催し法要の意義づけ、法要テーマや予算措置を協議の上、各部會の開催へ別院・センター建設推進委員會財務部會が別院で。懇志進納現況報告の後、①寺院懇志について。今後も継続してお願ひする②復興総合計画費収支計画変更と予算・決算について。震災等により工事費のアップによる変更③寺院教化助成金について。平成八年度は12%に◆29日第六回青年教化指導員會議が本山で。